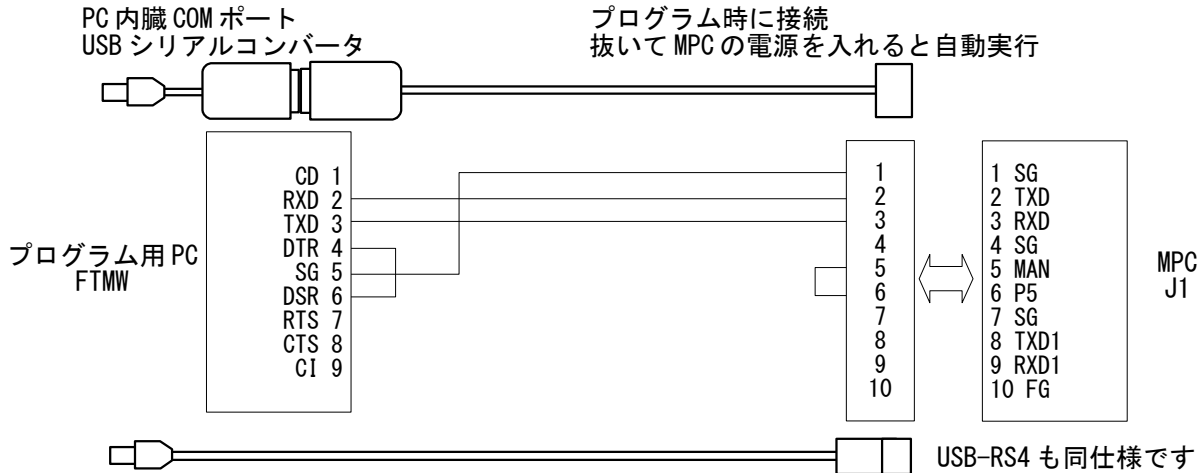


Technical Information		Ref No: ti2k-120118a	Last Modify 120118
Title	RS-232C プログラムポート接続例		

MPCはプログラムポート(J1)の5,6番ピンのショート/オープンでプログラムモード/自動実行モードを切り替えています。
 基本的にはプログラムケーブルの5,6番ピンをショートしておきます→接続例1,2,3。
 スイッチなどで切り替えも可能ですが要注意です→接続例4。

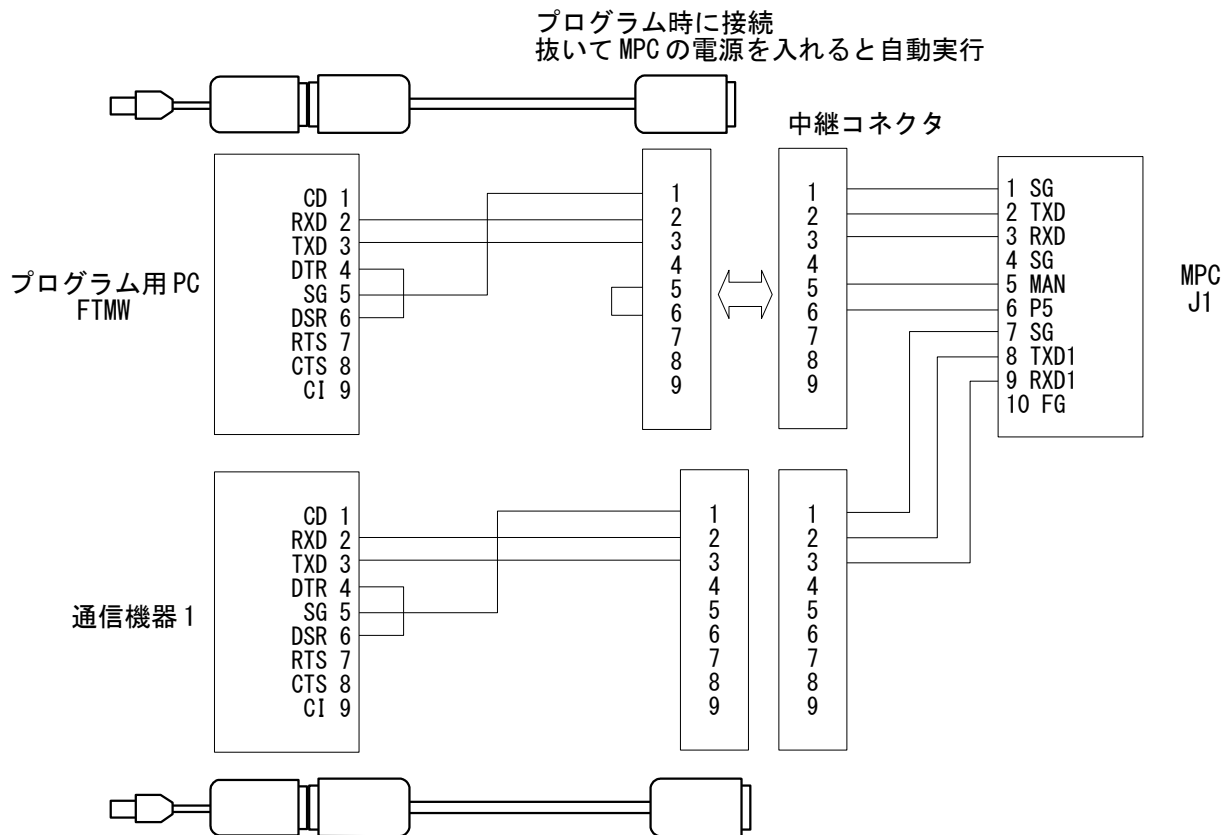
■接続例1

プログラム用PCとMPCのプログラムポート(J1)を直接接続します。



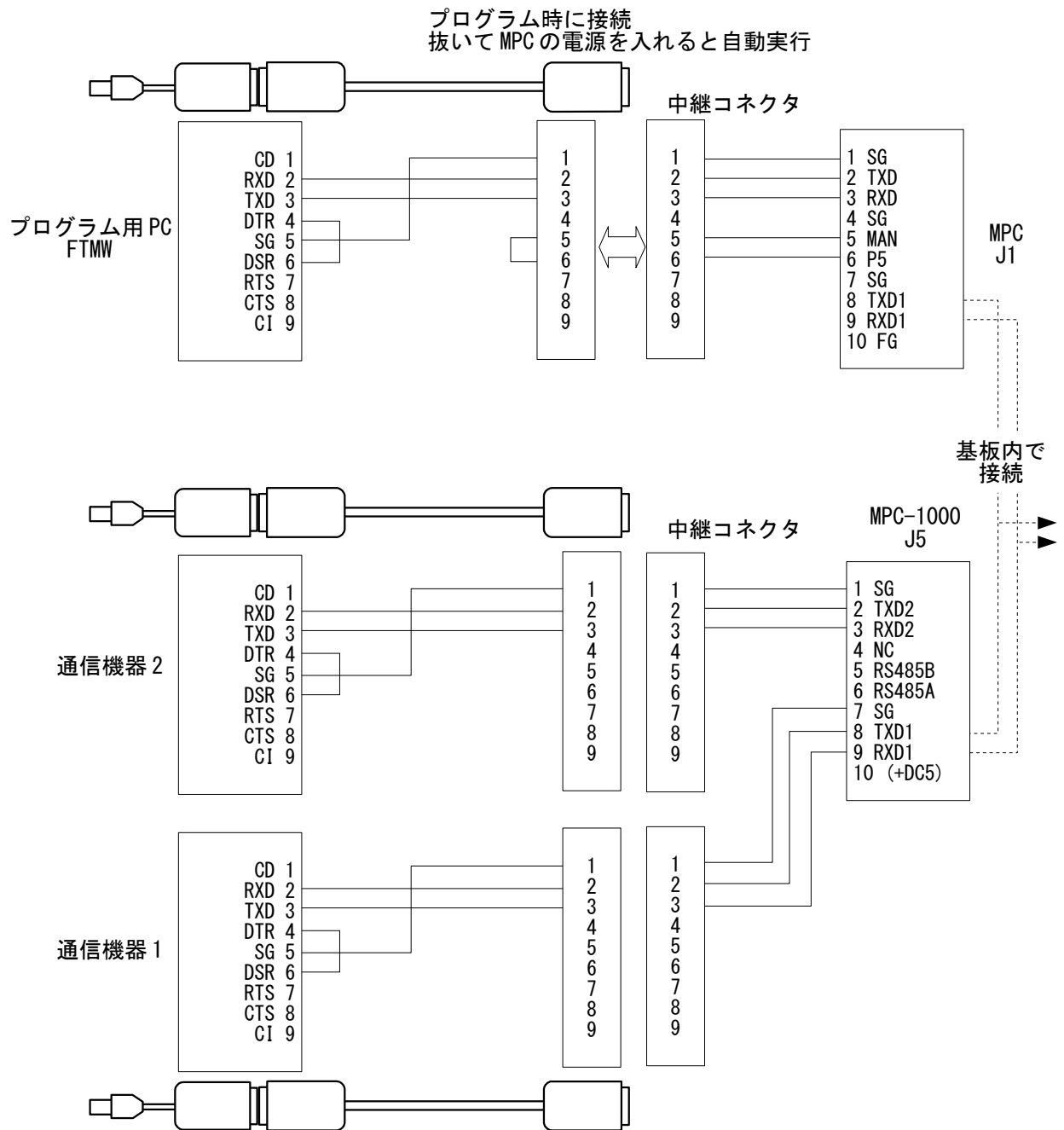
■接続例2

J1にはプログラムポートとユーザーポートが混載されています。
 下図は分岐・中継しています。MPC-1000ではJ5のCH1を使用するのが便利です。→接続例3



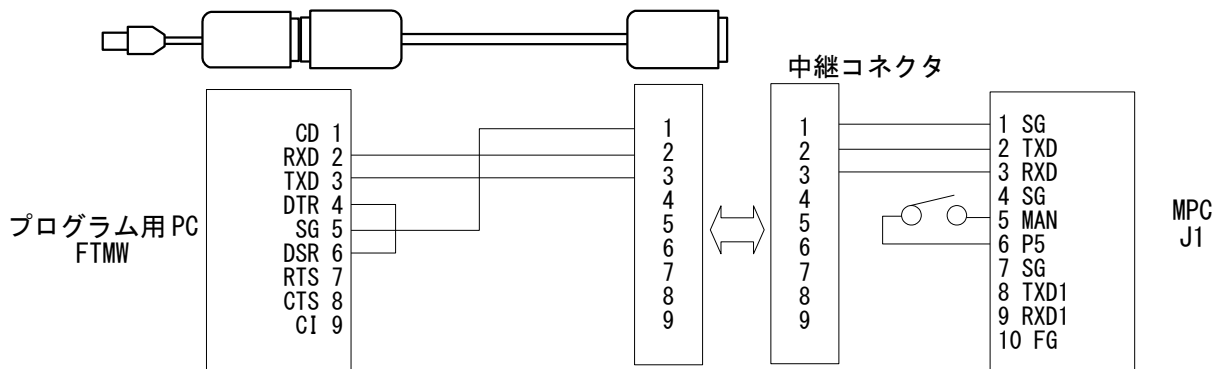
■接続例 3

MPC-1000 の J1 CH1 と J5 CH1 は同一ポートです。



■接続例 4

スイッチを使って5,6番ピンの開閉をすることも可能ですが、操作を間違えると、FTMW を接続しても実行中のプログラムが止まらない、プログラムの保存・読み込みできないなどのトラブルの元になる場合があるのでご注意ください(非推奨)



■USB シリアルコンバータについて

市販の USB シリアルコンバータには FTMW が動作不良を起こす物があります。

↓ 「Windows7 MPC 関係ソフトウェアのインストール」

http://departonline.jp/mpc2000/ref/headline/appendix/pdf/win7-software_setup.pdf

の 「USB シリアルコンバータの動作確認と設定」 をご参照ください。

■静電気に注意してください

ケーブル接続時に人体に帯電した静電気が MPC に印加され、ハード的な故障や RAM 化けなどを招くことがあります。ケーブル接続前に、金属部分に触れるなどして放電を励行してください。特に乾燥期にはご注意ください。

-- End Of File --